

関東柔道選手権大会・関東女子柔道選手権大会における 新型コロナウイルス感染症対策と大会運営方針

本大会は全日本柔道連盟が作成した「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針（Version6）」に則り、以下の方針で大会運営を行います。

1. 「3密」をさげ、ソーシャルディスタンスを保つため、入場制限を行う。

当日の入場者すべては事前申込を行うこと。

- ① 選手
- ② 帯同選手（選手1名に1名）
- ③ コーチ（選手1名に1名とする。複数名のコーチを兼ねることができる。
また、試合会場が男子2試合場・女子2試合場であるため、同一所属における最大コーチ数は男子2名・女子2名とする。）
- ④ 各県役員（コロナ対策最優先の大会運営をご理解いただき極力少人数にご協力いただきたい。各県会長を除き、最大でも30名以内とすること。）
- ⑤ 審判員・大会係員・補助係員

2. 健康記録表の提出と当日の検温

すべての入場者は大会前1週間の健康記録表を提出する。

選手および入場者の参加判断は別紙に定める。

※入場を認めない者の扱いについて

- ・選手が入場不可の場合：選手本人・帯同選手・コーチも入場できない。
ただしコーチが他選手のコーチを兼ねている場合は入場可能とする。
- ・選手以外の者（帯同選手・コーチ・各県役員・審判員・係員等）が入場不可の場合、その本人のみ入場できない。

3. マスク・消毒について

すべての入場者は常にマスクを着用すること。選手のみ試合時にマスクを外すことができる。試合場の消毒はスケジュール表により随時実施する。大会主催者は各所に消毒液を設置する。すべての入場者はこまめな手洗い消毒を心がけること。

4. 入場時間の設定

当日は武道館入口が密状態にならないよう、入場の時間を設定する。

- ① 大会係員・補助係員：8：00～8：15
- ② 選手・帯同選手・コーチ：8：30～9：00
- ③ 審判員：9：00～9：15
- ④ 各県会長・各県役員：9：15～9：45

※設定時間以外での入場は認めない。再入場を行う場合は、入口係員の許可を得て入場すること。

5. 選手・帯同選手・コーチ控え場所及び各県役員観戦場所について

- ① 選手・コーチは5試合前に試合会場に入場する。それまでは第二武道場にて待機すること。試合会場で立ったまま観戦は行わない。

試合が終了した選手・コーチの観戦は2F観客席とする。

- ②各県役員・帯同選手は2F観客席にて観戦を行う。1F試合会場への入場はできない。

(各県役員の昼食は開催県において各県会長含め11名分準備します。)

6. コーチの指示・指導について

試合中断中（主審の「待て」から「はじめ」までの間）であっても大声での指示・指導を禁止する。従わないコーチに対し審判員は、1回目口頭による注意、2回目で退場を命じる。

7. 大会前日練習

山梨県 小瀬武道館アリーナ及び第二道場において大会前日午後1時から3時まで練習できます。

8. 健康記録表の扱いについて

提出いただいた健康記録表は来場者把握と健康状態の確認に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。個人情報漏洩に注意を払い、主管県柔道連盟事務局にて1か月間保管し保管後はシュレッダーにて破棄いたします。

9. 大会終了後コロナウイルス感染が疑われる場合

すべての入場者の中で、大会終了後コロナウイルス感染が疑われる症状が出た場合は、医療機関を受診するとともに保健所の指示に従ってください。
また、各県柔道連盟事務局へ報告いただきますようお願いいたします。

**大会主催者は新型コロナウイルス感染対策を最優先に大会運営を行います。
参加されるすべての方々のご協力をお願いいたします。**

問合せ先

関東柔道連合会事務局長 米山徳彦

携帯番号 090-5426-0778

メール yamanashiken.judorenmei@gmail.com

< 選手の試合参加の入場プロトコール >

	内 容	試合参加
1	健康記録表や誓約書を提出しない	× (不可)
2	試合や計量当日に発熱 (37.5度以上) や諸症状がある	× (不可)
3	試合前2週間のうち、最初の1週間で連続する3日以上発熱 (37.5度以上) や諸症状があった	× (不可)
4	試合3日前から発熱 (37.5度以上) や諸症状がある (あった)	× (不可)
5	試合前の1週間で4日前までの1日だけに発熱 (37.5度以上) や諸症状があった	○ (可)

○試合前3日以降に有症状者と練習をしていた選手の出場は不可と判断します。

○待機中は位置取り (選手間は1~2m離す) に注意し、大声での応援や指示は禁じます。

○試合中以外は、マスクを着用とする。